



快挙！ 弓道部が大学日本一

2022年11月に開催された第46回全日本学生弓道女子王座決定戦において本学弓道部が優勝を飾り、初の大学日本一を達成しました。北海道の大学が優勝するのは男女を通じて初めてのことで、この快挙は歴史に刻まれることになりました。

弓道部は2022年10月に開催された全道学生弓道争覇戦において男女ともに5勝0敗、的中率7割を超える安定した強さを発揮して優勝。男子は2年連続、女子は2019年以来3年ぶりに全国大会への切符をつかみました。伊勢神宮弓道場で開催された全国大会では男子が準決勝で惜しくも僅差で敗れたものの、女子は並み居る強豪を退けて決勝戦に進出し、優勝経験のある関東の強豪桜美林大学に勝利して見事優勝を果たしました。創部50年目にして達成したこの快挙について副将の山内なつみさん（法律学科3年）は喜びを表明しつつも来年度を見据え、「王座決定戦は権威のある大会なのでぜひ2連覇したい。ただ、いきなり頂点を目指すのではなく、インカレや全道争覇戦など一つ一つ着実に勝ち進むことが大事」と抱負を語っています。また優勝報告を受けて河西学長は「日本一になることは凄いことです。全国の大学弓道競技者が皆さんを目標とするでしょうから、引き続き頑張ってください」と祝辞を送りました。今後は連覇に向けて、さらなる飛躍に期待が高まります。

団体戦メンバー（女子）：山内なつみ（法律学科3年）、宇部綾花（法律学科3年）、高橋明日香（人間科学科3年）、内山水葵（法律学科1年）、小倉菜々実（英語英米文学科1年）、松浦はるな（経営学科1年）

団体戦メンバー（男子）：坂井泰聖（経済学科4年）、石井拓海（法律学科4年）、丸山健斗（人間科学科4年）、小林夕朔（法律学科3年）、高原真士人（法律学科3年）、百武優仁（経営学科3年）、松岡雅也（人間科学科3年）、篠田健二（経営学科1年）、伊藤大和（人間科学科2年）、伊藤大地（こども発達学科2年）、与羽洸介（経済学科2年）、谷永太輔（法律学科1年）

監督：吉泉彰二（商大6期、1977年卒）、顧問：大國充彦（経済経営学部教授）



第2回高校生ビジネスプランコンテスト開催

本学では次世代の北海道を担う優れた人材の育成を目的として、北海道内の高校生を対象としたビジネスプランコンテストを昨年度から開催しています。2回目のコンテストは2022年12月10日、新札幌キャンパスにて開催されました。1次審査を通過した6校14チームが、これまで練り上げてきたビジネスプランを1チーム7分間で発表しました。審査員は、高橋忠浩氏（札幌市経済観光局商業・経営支援担当課長）、小塚友平氏（日本政策金融公庫創業支援センター長）、橋長真紀子氏（本学経済経営学部教授）の3名が務め、最優秀賞に選ばれたのは、北海道倶知安農業高等学校。日本酒を製造する工程で廃棄される「酒粕」をパウダー状に加工し、スイーツや美容製品として販売することで「酒粕」の付加価値を高めるプランを発表しました。受賞した生徒たちは「商品開発に向けて支えてくれた先生方、企業の方々に感謝したい」とコメント。優秀賞は、北海道静内農業高等学校、北海道札幌国際情報高等学校がそれぞれ受賞しました。



新さっぽろ専門 ご当地 YouTube プロジェクト

本学と「新さっぽろ駅周辺地区エリアマネジメント」^(※)が連携し「新さっぽろの知られざる魅力を発信」をテーマに、新札幌エリアを題材としたYouTube番組を制作しています。番組タイトルは、「新さっぽろ」と「YouTube」をかけて「SGU しんさTube」。

番組のコンセプトや構成、運営（出演、撮影、編集）などは学生スタッフが全て担当。新札幌のお店・グルメ、遊べるスポットなどを学生ならではの目線で発信しています。ぜひご覧ください。

(※) 新札幌エリアの新たなまちづくりを目的とした企業、医療法人、学校法人等により構成される団体。本学も参加しています。



もみじ台団地（厚別区）への学生の入居

札幌市と本学は2022年3月、もみじ台団地（厚別区）への学生の入居に関する協定を結びました。団地の空室に学生が入居することで、高齢化が進む団地の地域コミュニティを活性化することがねらいで、現在3名の本学学生が入居しています。10月には、同じくもみじ台団地に住む北星学園大学の学生との交流会を開きました。住み心地を聞いてみると「住民の方が親切」「部屋が広くて住み心地が良い」「家賃が安い」など、とても満足している様子です。

住民の方々の協力を受けながら、夏祭りや清掃活動にも参加するなど、少しずつ「もみじ台団地」の住民として溶け込んでいるようです。

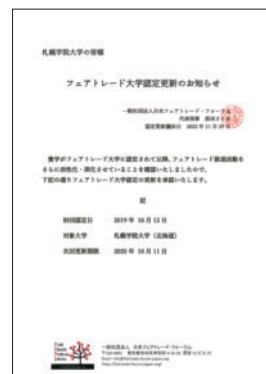


「フェアトレード大学」の認定が更新されました

本学は2019年に国内2校目、北海道では初のフェアトレード大学に認定されました。以来フェアトレードサークルや国際交流課が中心となり、フェアトレード普及のための様々な活動を続けてきました。

「フェアトレード大学」認定の更新は3年毎に実施されることとなっており、一般社団法人日本フェアトレード・フォーラムの認定委員による現地調査が、2022年9月29日に江別キャンパスにて実施され、河西学長をはじめ、関連部署の教職員、大学生協、学生が、この間（3年間）の取り組み（活動状況）に関するヒアリングを受けた後、同法人の理事会の議を経て、「フェアトレード大学」としての認定が更新（承認）されました。認定委員からは、コロナ下という状況の中で、オリジナルのフェアトレード商品「さっぽろゆめ結晶」の開発、販売、また日本で初開催となったオンラインでの「世界フェアトレード大学 Web シンポジウム」の開催や、フェアトレードの普及活動に積極的に取り組む姿勢を高く評価いただきました。

今後は、本学と同じく2019年に国内5番目のフェアトレードタウンに認定された札幌市とも連携を強化し、フェアトレードの普及活動に努めていきます。



※フェアトレードとは、公平・公正な取引を通じ、主として開発途上国の生産者・労働者の生活改善と自立を実現することを目的とした取り組みです。

札幌日本大学高等学校との高大連携に関する協定締結

札幌日本大学高等学校（北広島市、校長：浅利剛之氏）と本学は2022年11月15日、包括連携協定を締結しました。札幌日本大学高等学校は近年、スーパーサイエンスハイスクール認定（2012年、2017年）、スーパーグローバルハイスクール認定（2015年）、さらには道内私立高校初の国際バカロレアIB校認定（2022年）など著しい教学改革を遂げています。同校より本学の教育・研究施設、とりわけ大学図書館の利用について要望を受けたことをきっかけに高大連携に関する協定締結が実現しました。今後、両校が連携することで、派遣授業や高大接続に関する情報交換、教員相互の交流など、双方の教育研究活動をより一層推進していく予定です。



北海道テレビ放送株式会社（HTB）との包括的連携協定の締結

HTB 北海道テレビ放送（代表取締役社長：寺内達郎氏）と本学は、学生を中心としたSDGsに係る諸活動の活性化と、番組制作・情報発信・共同イベント等を通じた次世代の人材育成に貢献することを目的として2022年11月29日、包括連携協定を結びました。

調印式の中で河西学長は「大学の使命は教育研究活動を社会課題解決につなげ、社会的インパクトを創出すること。HTBと協働して社会的インパクトを創り出し、それを担う人材教育を強化することで北海道社会に貢献したい」と述べました。

調印式後には、HTB マスコットキャラクター「onちゃん」と本学学生による「onちゃんおはよう体操」の収録を行いました。

今後は両者が協働して地域の活性化を推進、番組制作や情報の発信、イベントなどを企画立案し取り組んでいく予定です。



海外留学を2年ぶりに再開

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止としていた海外留学を約2年ぶりに再開しました。2022年8月より、交換留学生として韓国へ4名、台湾へ1名が留学し、9月にはアメリカへ9名、イギリスへ2名が半期留学、計16名の学生が本学の海外協定校に派遣されました。

新型コロナウイルス感染症の終息が未だに見通せない中での留学となるため、学生には「海外危機管理オリエンテーション」を事前に実施し、安全対策等への理解を深めてもらいました。また、本学は学生派遣に関わる全てのリスクマネジメントに対応する「危機管理サービス」に加入し、派遣学生と保護者に対し安全確認システムを提供し、留学生生活をサポートしています。

カリフォルニア大学デービス校（アメリカ）に約5カ月留学した松田梨緒さん（英語英米文学科3年生）は、「大学生のうちには必ず留学するという気持ちを強く持っていました。コロナで落ち着かない状況だとしても、学生の時間は限られており、学生時代にしか体験できないこともあるので、留学を決めました。留学先で充実した学生生活を送ることができ、本当によかったです」と帰国後に感想を述べています。

学生が多様な文化や価値観に直接触れ、視野を広げられるよう、安全かつ安心して留学できるための支援をこれからもしていきます。



クラブ & サークル

陸上競技部

2022年度の陸上競技部はトラック競技・駅伝ともに好成績を収めました。出雲駅伝(10月、鳥根県)では北海道から「北海道学連選抜」としてチームを編成しましたが、出走メンバー6名中5名を本学学生が占め、好走を見せました。全日本大学駅伝(11月、名古屋・伊勢)では予選会(8月)を勝ち抜き、本戦ではチーム過去最高タイムと最高順位タイをマークし、25チーム中19位の成績を収めました。

今年度より伝統のある青いユニホームから、新しい大学ブランドカラー、ブランドロゴに合わせたイエローのユニホームに生まれ変わり、さらなる活躍が期待されます。



女子バスケットボール部

バスケットボール部は組織的なオフェンス、タイムマネジメントを考えたチームスタイル、そしてデータ分析に基づいたチームディフェンス力を武器に数々の大会にて勝利を重ねています。全日本大学選手権の北海道予選では9勝1敗という結果で惜しくも大会2連覇とはなりませんでしたが、5年連続で全国大会への出場を決めました。

今年度から全国大会の形式が変わり、予選リーグが行われた結果、予選グループ3位で残念ながら突破することはできませんでした。

来年度に向けさらに力をつけ、全国の舞台での活躍を期待しています。



学科トピックス

臨床心理学科

新札幌移転記念講演会を実施しました

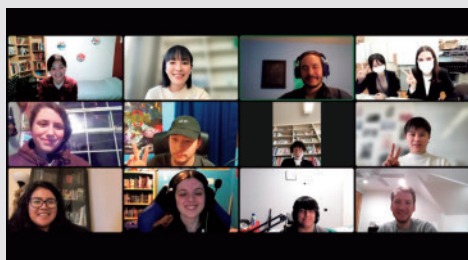
心理学部臨床心理学科は大学院臨床心理学研究科・心理臨床センターとともに2022年4月に新札幌キャンパスに移転しました。これを記念して旭山動物園園長の坂東元先生、浦河べてるの家の向谷地生良先生、鳥根大学の岩宮恵子先生をお招きした移転記念講座を全3回企画しました。各回、「命をつなぐ自然な姿～行動と環境と心理学」、「当事者研究がひらく、こころ・地域・世界」、「アニメ・漫画から読みとく思春期のこころ」と、本学らしい多様な観点でご講演いただき、大変学びの多い講演会となりました。



英語英米文学科

マウントフード・コミュニティ・カレッジ学生とのZoom交流

今年度の後期から月に1～2回の頻度で、アメリカのオレゴン州グレシャム市にあるマウントフード・コミュニティ・カレッジの学生と本学科学生とのZoom交流会を開催しています。江別市教育部生涯学習課の国際交流員の方にもご参加いただいて、プレゼンテーションやフリーディスカッションを楽しみ、お互いの言語や文化について学んでいます。※グレシャム市と江別市は姉妹都市協定を結んでいます。



人間科学科

1年生ゼミで「世界がもし100人の村だったら」の演習を行いました

人間科学科のソーシャルワーク専攻では、入門演習として「世界がもし100人の村だったら」のワークを体験しました。

世界には多様な国、民族、ジェンダー、言語、習慣、宗教、文化的背景、社会階層の人が暮らしていますが、そこにはさまざまな排除や抑圧の問題があります。それを少しでも体感する演習です。手渡されたカードに記載されている情報に基づいて挨拶の言葉を通じる同言語の人とグループをつくり、字が読めない両親と病気の子どものケア場面や、グループごとに配分された富の分配の格差問題など、身体と心を動かしながら社会における人々の経験を想像しました。

このような演習を通してひとつひとつの生活経験や信条を尊重した「多様性と対話の場」として共生社会を理解していきます。



こども発達学科

教育実習事後交流会を開催しました

教育実習事後交流会は、教育実習の事後指導の一環として行っているもので、今年度は学外講師として札幌市小学校長会から足立教氏を招き、江別キャンパスのG館において11月9日に開催しました。運営、進行は4年生が行い、活発な交流に努めていました。学生3名が、それぞれのテーマで「研究授業の取組」「子どもとの関わり」「教育実習と自分の将来」について発表を行い、発表後には3年生、2年生との質疑応答があり真剣なやり取りが見られました。最後に足立先生から指導・助言をいただき閉会しました。



お笑いサークル「我ら！笑学生」

お笑いサークル「我ら！笑学生」は2021年に設立された新しい文科系学生サークルです。

2022年4月、HTB北海道テレビ放送「錦鯉が行く！のりのり散歩」（6月11日放送）の撮影が本学でおこなわれ、お笑いコンビ錦鯉のお二人が新札幌キャンパスを訪れました。撮影ではお笑いサークルの学生がネタを披露し、その後にサークル名を錦鯉のお二人に決めていただきました。

10月には初の単独ライブ「夢の！笑学生ライブ」を開催し盛り上がりを見せました。

今後の活躍に期待が高まります。



法律学科

法学検定試験のベーシックとスタンダードで合格者数全国第1位！

法学部法律学科では2021年からスタートした新カリキュラムの下で、授業と連動したかたちで法学検定試験の受験に力を入れています。今年度も11月27日に本学江別キャンパスで試験が行われ、団体受験合格者数がベーシック（基礎）コースで121名、スタンダード（中級）コースで64名となり、ともに全国の大学の中で第1位という優れた実績を残すことができました。



会計ファイナンス学科

「経営の学び」の再確認

2年生専門ゼミナールIIにおいて、4ゼミ合同で講演会を実施しました。テーマは「経営の学びと社会人基礎力」とし、札幌市内の大手会計事務所から2名の講師をお招きしました。そのうち1名は本学会計ファイナンス学科の卒業生で、経営の学びでは簿記や会計が重要で、「会計言語」と言われる所以について具体例をあげてお話いただきました。



経済学科

地域に大学が入ります

経済学科の地域研究プログラムの一環として、大國充彦教授のゼミの3年生14名が9月上旬の4日間、標津町で調査合宿を行いました。羅臼・標津・別海・根室の道東4市町は「鮭の聖地」として2020年、日本遺産に登録されています。1万年におよぶ鮭と人との交流を、標津の人びとの仕事と暮らしを読み取ろうと、学生たちは聞き取り調査を行いました。



標津サーモン科学館で説明に聴き入るゼミ生たち

経営学科

専門科目「プロジェクト実践」石狩市厚田で地域貢献活動を展開しました

石狩市厚田で経営学科の学生が地域貢献活動を展開しました。今年度は、厚田支所地域振興課長へのヒアリング（5月）、遊歩道草刈りボランティア実践（6月）、あきあじ祭り参加実践（9月）を行いました。写真はあきあじ祭り前日の餅撒き用餅づくりのお手伝いです。地域のボランティアの皆さんとともに餅づくりと祭りの準備に汗を流しました。祭り当日は学生ブースを展開。あいにくの雨でしたが家族連れで賑わい、学生たちも満足した活動となり良い経験ができました。



教員採用試験、既卒者も含めて33名が登録

2023年度採用の教員採用試験には、北海道、札幌市のほか道外を含め、現役4年生から小学校17名、中学校社会1名、中学校英語1名、高等学校英語1名、特別支援学校5名の計25名、既卒者8名（小学校、高等学校地理歴史、特別支援学校）の合計33名（延べ人数・2022年11月1日現在）が登録されました。11月17日には、合格者の努力を労い、その経験を教職課程全体のものにするために「教職をめざす学生交流会」を開催し、情報交換を行うとともに、後輩達も教員への決意を新たにしました。コロナ禍が続いていますが、感染症対策を行い、学びを止めず、採用に向けて、学生・教職員が一体となって日々の学修を継続しています。



元学長（名誉教授）杉本 正先生のご逝去について

2022年11月24日、本学元学長（名誉教授）の杉本正先生（94歳）が逝去されました。杉本先生は本学の前身である札幌文科専門学院を卒業後、1956年に本学の前身である札幌短期大学に着任し、学校法人明和学園副理事長（1985年5月～1987年5月）、札幌学院大学の第4代学長（1995年4月～1998年3月）として数々の功績を残され、学園の発展に大きく貢献されました。



この度の訃報に接し、先生のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、学園に対するこれまでの多大なる貢献・尽力に対し衷心より感謝申し上げます。

第47回札幌学院大学学術講演会×NHK 大学セミナー

今を生きるための自分の在り方～嫌われる勇気より～

2022年11月24日、本学江別キャンパス SGU ホールと新札幌キャンパス多目的ホールを会場として「学術講演会×NHK 大学セミナー」（第47回札幌学院大学学術講演会）（主催：NHK 札幌放送局・札幌学院大学）を開催しました。

この企画はNHKとの共同企画で、「今を生きるための自分の在り方～嫌われる勇気より～」をテーマに、ベストセラー『嫌われる勇気』でおなじみの哲学者・心理学者岸見一郎氏にオンラインにて講演いただきました。

講演会後半の質疑応答では、参加者からの質問や悩み相談に対して親身になってアドバイスをされ、アドラー心理学に関する知識だけでなく、岸見先生のお考えや人となりを深く知る機会となりました。



保護者懇談会

コロナ禍の影響により、3年ぶりの保護者懇談会開催となった今年度は、8・9月に地方会場（旭川、北見、帯広、釧路、函館、青森）、10月に本学で約440名の保護者の皆さまをお迎えし開催しました。

全体説明会では、本学の教育活動、学生支援について、個別面談では、教員より学生の修学状況（単位修得・成績など）について懇談しました。



「映画と対談／時代と人間の交差点を読み解く」— 2022年度コミュニティ・カレッジ —

今年で24年目となるコミュニティ・カレッジに、記録映画と対談を組み合わせた新たな講座が加わりました。初回は「ヒロシマ ナガサキ 最後の二重被爆者」を題材に8月に、第2回は「役者として生きる 無名塾第31期生の4人」を題材に1月に開催しました。記録映画の独自の世界観と具体性から現代社会の諸問題を深掘りする講座になっています。

今年は6月17日に記録映画「日高線と生きる」を題材に、鉄道と地域の再生について考えます。ぜひご参加ください。

今後とも市民の皆さまの「学び」に応える企画を考えてまいります。



講座「映画と対談／時代と人間の交差点を読み解く」二重被爆について語る稲塚秀孝監督と二通諭名誉教授

青嵐祭（大学祭）実行委員長インタビュー

法学部法律学科3年

松澤拓夢（まつざわたくむ）さん

3年ぶりの青嵐祭、しかも初めての札幌キャンパスでの開催で大学祭実行委員長を務めた松澤拓夢さん（法学部法律学科3年）にインタビューを行いました。

Q1. 大学祭実行委員会に入るきっかけは？

もともと高校でも生徒会執行部において、行事の企画や運営に携わっていました。入学してすぐはコロナ1年目で課外活動どころではなかったのですが、2年目に大学祭実行委員会の勧誘を見て応募しました。ただ2年目も青嵐祭は中止。実行委員会の活動はオンライン併用で細々と続けていました。

Q2. コロナが終息しておらず、今年もオンライン開催の選択肢もあったと思うのですが。

コロナ2年目の昨年、多くの大学が大学祭をオンライン開催していたので参考にしようとしてリサーチをしていました。その結果わかったことは、よほど著名な芸能人を呼ぶなどの仕掛けがない限り、全然盛り上がりがないということでした。それで、自分たちが開催するときは絶対来場型にしようと早くから話していました。

Q3. 3年ぶりの青嵐祭、しかも初めての札幌キャンパスでの開催。準備が大変だったのでは？

はい。先輩からの引継ぎ自体は昨年のうちに済ませていたのですが、過去の経験だけでは対処できないことだらけでした。コロナ禍による制約もたくさんあり、特に飲食に関する制約、例えばその場では調理できないので調理済みのもののみを提供するなど様々なハードルがありました。

Q4. 大学祭には本学関係者のみならず一般の方も多く来場していました。手ごたえは？

多くの方に来ていただけるよう、業者の方にも宣伝をお願いするなど広



報はいろいろ工夫しました。その結果、当日は用意したパンフレットが足りなくなり、途中からは急遽コピーして配布、最後はそれも足りなくなって来場者にその場でパンフレットの写真を撮ってもらいました。自分としては、青嵐祭にかかわった学生、大学関係者、協力業者・出演者の皆さま、来場者の皆さまに「ありがとう」と言ってもらえるようがんばってきました。実際に多くの方からそう言ってもらえたので、やりがいを感じました。

Q5. 最後に、次回の青嵐祭に向けて展望をお聞かせください。

2022年はコロナの制約が残る中での開催でしたが、2023年はぜひ飲食をもっと充実させ、校舎前のプロムナードにもブースを出したいです。また開催時期については現在の6月は気候的には良いのですが、9月以降のほうが良いという考え方もあります。それは、実行委員会で毎年中心となる3年生が、9月以降のほうが就職活動とのやりくりがしやすいからです。あと今年は実現できなかった隣の札幌看護医療専門学校との合同開催もぜひ実現したいです。

〈聞き手：広報室長 白石英才〉

卒業生この人

株式会社 将軍ジャパン
取締役社長 丹波 孝司さん

株式会社 将軍ジャパン



丹波孝司社長（1998年3月経済学部卒業）

「ヘアカット専門店クイックカットBB」を中心に全国に209店舗の理容店を展開する株式会社将軍ジャパンの取締役社長丹波孝司さん（1998年経済学部卒）にお話を聞きました。

丹波さんは本学卒業後、大手家電メーカー勤務を経て、2004年に同社へ入社、2017年に取締役社長に就任しました。

Q1 現在お勤めの会社に就職されたきっかけを教えてください。

私は学生時代は経済学部経済学科に在籍しており、専攻の農業経済学・地域経済学では「地方から全国に向けた、地元企業による経済の活性化」の重要性を学び、いつか北海道から全国に向けた経済活動をしてみたいという想いを持ちました。その後、大手家電メーカーに就職しましたが、既に全国規模であったそちらの企業では成長を実感することが難しく、そのころ出合った現在の会社はまだ全国展開を遂げておらず、自らの成長がそのまま会社の発展に直結するということが躍り、転職を決意しました。

Q2 お仕事に関するエピソードを教えてください。

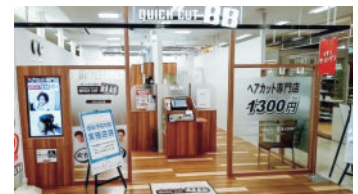
東京池袋にあった企業のM&A（企業合併・買収）が成功したときに、初めて地方から全国に向けたビジネスがスタートしたことを肌で感じました。始めは不安の方が大きかったのですが徐々に期待が大きくなり、それが大きな転機となり、その後フランチャイズショーなどにも積極的に出展したことで、全国へのフランチャイズ展開が加速してまいりました。

Q3 札幌学院大学に入学して良かったこと、印象に残っている思い出をお聞かせください。

農業経済論・地域経済論のゼミでニセコ町に泊りがけで調査実習に行ったことがとても印象に残っています。現在、観光と農業の結びつきで町の魅力を国内外に発信しているニセコ町の発展の前夜を見ることができたことは、自分のビジネスマン人生に大きな経験になりました。また、当時の中川渡教授に文泉でピーフシチューをご馳走になったことが記憶に残っています。

Q4 後輩である本学の学生たちにメッセージをお願いします。

私は浪人して入学しましたが「この環境で全力を出してみる4年間にしよう」と決心し、授業にもアルバイトにも全力で取り組んだことで採用がいきなり、そして現在の会社に出合ったという運命を感じています。本当に札幌学院大学で学んで良かったと感じています。コロナ禍でいろいろと制約が多い学生生活だと思いますが、その中で自分ができていることに本気で取り組んでいけばそれは必ず将来に役に立つので、様々なことを楽しんで経験してほしいと思います。



株式会社将軍ジャパンが展開する「ヘアカット専門店クイックカットBB」（写真はクイックカットBBイオン江別店）

Information

学位記授与式の挙行について

2022 (令和 4) 年度 学位記授与式を次のとおり挙行します。

〈日時〉 2023 (令和 5) 年 3 月 17 日 (金)
〈式場〉 札幌学院大学 G 館 SGU ホール

※保護者の参列につきましては、1 家庭 2 名までとさせていただきます。

● 9 時 30 分 開式 (集合時間 9 時 15 分)

- 大学院 臨床心理学研究科 (集合場所 D302 教室)
- 大学院 地域社会マネジメント研究科 (集合場所 C312 教室)
- 大学院 法学研究科 (集合場所 D201 教室)
- 法学部 法律学科 (集合場所 D201 教室)
- 人文学部 臨床心理学科 (集合場所 D302 教室)
- 心理学部 臨床心理学科 (集合場所 D302 教室)

● 12 時 00 分 開式 (集合時間 11 時 45 分)

- 経営学部 経営学科 (集合場所 E301 教室)
- 経営学部 会計ファイナンス学科 (集合場所 E301 教室)
- 人文学部 英語英米文学科 (集合場所 B301 教室)
- 人文学部 こども発達学科 (集合場所 B102 教室)

● 14 時 30 分 開式 (集合時間 14 時 15 分)

- 経済学部 経済学科 (集合場所 D301 教室)
- 人文学部 人間科学科 (集合場所 D202 教室)

教育研究振興寄付のご協力に深く感謝

本学へ寄付のご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

ご寄付いただいた方々への感謝を込めご芳名を掲載させていただきます。

■ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がございましたら、誠に恐縮ですが、財務課寄付金担当までご連絡ください。(011-386-8111)

寄付者・ご芳名 (掲載承諾者、敬称略、五十音順) 2022.6.1 ~ 12.31

青木 正利	影谷 英治	菅原 秀二	中村 重和	三津谷辰彦
安孫子建雄	金谷 輝之	清野 祐子	中村 誠司	緑 敬一
伊佐 均	狩野 建司	高橋 恒久	中村 英夫	桃山 光雄
伊沢寿美子	河西 邦人	高橋 貢	長谷川克弥	山田 陽介
井上 俊彌	草野 馨	竹内 真哉	福元 美佳	結城 才雅
今川 二郎	小林 延行	田中 弥衣	藤田 繁三	横山 文寛
岩岡 豊光	小松ひとみ	玉木 悟	細谷 和司	吉田ひろみ
岩崎 敏晴	今野 寿幸	辻 智子	松村仙太郎	渡邊 晋平
上原 真弓	斉藤 茂	中垣 梯	松本美智子	渡部百合子
大隅 正弘	佐藤 武彦	中西 宏明	三谷 俊司	ほか匿名 44 名、 1 団体
小川 朋浩	澤田木綿子	中野 定信		

※受取者指定寄付をのぞく

2023 年度 行事等予定

	[前 期]	[後 期]
3 月 28 日 (火)	在学生健康診断 (新札幌)	9 月 21 日 (木) 後期授業開始
29 日 (水)	在学生健康診断 (新札幌)	23 日 (土) 大学進学セミナー (旭川) 大学院第 1 期入試
30 日 (木)	在学生ガイダンス 在学生健康診断 (江別)	24 日 (日) 大学進学セミナー (北見) 大学院第 1 期入試
31 日 (金)	在学生ガイダンス 在学生健康診断 (江別)	28 日 (木) 前期末学位記授与式
4 月 1 日 (土)	入学式 (札幌コンベンションセンター)	30 日 (土) 大学進学セミナー (帯広・函館)
3 日 (月)	新入生ガイダンス	10 月 1 日 (日) 大学進学セミナー (釧路・青森)
4 日 (火)	新入生ガイダンス	7 日 (土) リフレクション入試面接 (本学)
5 日 (水)	新入生ガイダンス、 新入生健康診断 (新札幌・江別)	14 日 (土) 保護者懇談会 (本学)
6 日 (木)	新入生ガイダンス	28 日 (土) 編入学試験 (A 日程)
7 日 (金)	前期授業開始	11 月 4 日 (土) リフレクション入試 (面接重視型)
6 月 11 日 (日)	オープンキャンパス	25 日 (土) 学校推薦型入試
15 日 (木)	学園創立記念日	26 日 (日) 学校推薦型入試
24 日 (土)	大学祭	12 月 2 日 (土) オープンキャンパス
7 月 16 日 (日)	オープンキャンパス	16 日 (土) リフレクション入試 (自己PR)
29 日 (土)	前期定期試験	1 月 13 日 (土) 大学入学共通テスト
31 日 (月)	前期定期試験	14 日 (日) 大学入学共通テスト
8 月 1 日 (火)	前期定期試験	25 日 (木) 後期定期試験
2 日 (水)	前期定期試験	26 日 (金) 後期定期試験
3 日 (木)	前期定期試験	27 日 (土) 後期定期試験
4 日 (金)	前期定期試験	29 日 (月) 後期定期試験
5 日 (土)	大学院臨床心理学研究科特別選抜入試	30 日 (火) 後期定期試験
21 日 (月)	夏期集中講義期間 (前期科目)	31 日 (水) 後期定期試験
~26 日 (土)		2 月 3 日 (土) 一般入試A
9 月 2 日 (土)	保護者懇談会 (旭川)	4 日 (日) 一般入試A
4 日 (月)	秋期集中講義期間 (後期科目)	10 日 (土) 大学院第 2 期入試
~9 日 (土)		22 日 (木) 卒業発表
9 日 (土)	保護者懇談会 (函館)	24 日 (土) 転学部・学科試験
10 日 (日)	保護者懇談会 (青森)	3 月 2 日 (土) 編入学試験 (B 日程)
16 日 (土)	オープンキャンパス	8 日 (金) 一般入試B・リフレクション入試
		15 日 (金) 学位記授与式
		20 日 (水) オープンキャンパス

※なお、変更が生じた場合は、大学ホームページにてご案内します。

[入試情報] 大学進学セミナー

進路選択、進学準備のきっかけづくりを目的に、道内主要都市および東北地方にて、「大学進学セミナー」を開催します。

大学進学セミナーでは、学部学科における学び、入試制度、学生生活、資格・就職、奨学金、一人暮らしなどについて専門スタッフがご案内しています。

日 程	開催地	日 程	開催地	日 程	開催地
7 月 11 日 (火)	室蘭会場	9 月 23 日 (土)	旭川会場	10 月 1 日 (日)	釧路会場
7 月 23 日 (日)	八戸会場	9 月 24 日 (日)	北見会場	10 月 1 日 (日)	青森会場
7 月 24 日 (月)	盛岡会場	9 月 30 日 (土)	帯広会場		
7 月 25 日 (火)	秋田会場	9 月 30 日 (土)	函館会場		

※開催時刻、会場などの詳細は決定次第、本学公式ホームページでご案内します。

[入試情報] オープンキャンパス

日 程	
3 月 21 日 (火・祝)	【サツガク入門】
6 月 11 日 (日)	【リフレクション入試・学校推薦型選抜説明会】
7 月 16 日 (日)	【学び LIVE !】
9 月 16 日 (土)	【学校推薦型選抜対策講座】
12 月 2 日 (土)	【サツガク模試】
2024 年 3 月 20 日 (水・祝)	【サツガク入門】



なお、大学進学セミナーやオープンキャンパスなど今後のイベントにつきましては、新型コロナウイルスの感染症の情勢により、延期や中止、オンライン開催など変更が生じる場合があります。最新情報につきましては本学公式ホームページをご確認ください。

SNS 情報

Instagram



SAPPOROCAMUN.UNIV

Pick Up !

Instagram
の投稿の
一部を
ご紹介！



#書道部 #作品展

#ナイター設備

Facebook



twitter



YouTube



この広報紙は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO2 削減活動ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。